

「夫の親戚が古着を段ボールで送ってくる…」 ジェーン・スーが考える“解決策”に思わずスツキリ！ 【OVER THE SUNのお悩み相談室】

【相談】ありがた迷惑な親戚への対処法

【お悩み】

結婚式で会ったきり連絡もほぼとっていない夫の親戚が、ある日予告なくご自身の古着を我が家にダンボール1箱分送ってきました。「喜ぶと思って」と手紙に書いてありましたが、サイズも好みも違う10年以上前のものと思われる服。同じことが数回続き、さすがに夫にも伝えましたが、気の強い方ということもあり直接話してもらえません。でも私が直接話すことも夫が嫌がります。こういうときおふたりならどうしますか？

(36歳・女性・おまつさん)



OVER THE SUNパーソナリティのジェーン・スーさんと堀井美香さん。

スー これは絶対に喧嘩しないほうがいいですね。こういう親戚とわかり合うのは難しいです。私だったら、送られてきた古着はそのまま「古着deワクチン」に送りますね。回収キット費くらいはパートナーに出してもらおうかな。「あなたの親戚でしょう？」って。

堀井 「お返しです」って自分の古着を相手に送ったりして(笑)。

= 中略 =

スー 今回、私たちは捉え方と意見が分かれるね。

堀井 ちなみに「古着deワクチン」に送るとしたら、それは親戚には伝える？

スー 聞かれたら言いますね。「たくさんいただいたんですけど、うちも狭くしてしまうところがあったので、寄付させていただきました。いただいたお洋服で、恵まれない地域の子たちにワクチンが何本も送れました。ありがとうございます」って。

堀井 ……さすがだわ！



■ profile

ジェーン・スー

1973年、東京都生まれ。TBSラジオ「ジェーン・スー 生活は踊る」、Podcast番組「となりの雑談」パーソナリティとして活躍。近著に『闘いの庭 咲く女 彼女がそこにいる理由』(文藝春秋)、『へこたれてなんかいられない』(中央公論新社)などがある。